

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 平成 26 年度 歯科保健活動助成交付事業抄録</p>
<p>1. 事業名：特別支援学校における TEACCH プログラムを応用したオーダーメイドの口腔清掃法指導システムの構築</p>
<p>2. 申請者名：一般社団法人 広島市歯科医師会 会長 土江健也</p>
<p>3. 実施組織：一般社団法人 広島市歯科医師会 広島大学病院 障害者歯科</p>
<p>4. 事業の概要：特別支援学校の児童・生徒たちの口腔内状況の改善を主目的とする。また、保護者及び支援学校職員の口腔健康に対する意識および口腔清掃技能の向上を目指し、さらに個々の児童・生徒の障害にあった TEACCH プログラムを応用したオーダーメイドの口腔清掃法を構築する。本事業に参加する歯科医師会会員の障害者歯科診療に対する知識と技能の向上も期待される。TEACCH プログラムとは Treatment and Education of Autistic and related Communication handicapped Children の略であり、早期から成人期に至るまでの知的障害あるいは自閉症の包括的治療教育プログラムのことである。</p>
<p>5. 事業の内容：広島市立広島特別支援学校にて歯科検診を実施。本研究に参加できる児童・生徒の募集を行い、40 人の児童・生徒の抽出を行った。対象となった児童・生徒には、年 3 回の個別指導を（保護者・担任を含み）実施。また、個別の絵カードを作成するためのワークショップ（年 4 回）を開催して具体的な問題点の抽出およびその改善点を検討した。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）：本事業は以下のように 3 年間で計画している。</p> <p>1 年目（平成 25 年度）：歯科検診を実施し、その結果を統計学的に解析。また、保護者や学校職員に対し、口腔保健に対する意識調査をアンケート形式で行い、具体的な問題点の抽出およびその改善点を検討。</p> <p>2 年目（平成 26 年度）：協力者と、その保護者・担任に対し個別口腔衛生指導を年 3 回実施。1 回目の指導後、視覚支援の検討を行い、個々に対し具体的な絵カードの作成を行う。その絵カードを基に 2 回目・3 回目の個別口腔衛生指導を実施。3 回目の個別指導終了時にアンケート調査を実施。</p> <p>3 年目（平成 27 年度）：再度、評価を行う。歯科検診、アンケート調査、1 年目の結果と比較検討を行う。</p> <p>今後の課題</p> <p>本年度は本研究の協力児童・生徒とその保護者・教職員に対し個別の歯科衛生指導を年 3 回実施。個別指導前には、ワークショップの開催（年 4 回）。終了時には、保護者・教職員へアンケート調査実施。個別歯科衛生指導より、今後に向けて具体的な対応策と見通しが立ってきた。従って、特別支援学校の児童・生徒たちの口腔内状況を把握する上で大変有意義であると思われる。</p> <p>今後の課題としては、以下に挙げることができる。</p> <ol style="list-style-type: none">① 児童・生徒の卒業以降の経過を各個人、個人追うことができない。② 新入学生や、赴任教職員に対し、今までの口腔衛生管理指導を維持していくのが難しい。③ 児童・生徒の協力度に関わらず、保護者・教職員のモチベーションにより、指導の進み方に大きな差が出る。 <p>今後も特別支援学校の児童・生徒たちの口腔内状況の改善を目指して、3 年目も計画通りに事業を進めていく予定である。</p>